

■ 弘前市大字下白銀町2-1(追手門広場内) ■ TEL 0172-37-5505 ■ 開館時間／午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
■ 観覧料／(一般)100円・(小・中学生)50円 ※弘前市内の65歳以上、市内の小・中学生、市内の留学生、市内外の障がいのある方、ひろさき多子家族応援パスポートをお持ちの方は無料です。

定員のある各イベントは人数に達し次第、受付を終了いたします。あらかじめご了承ください。

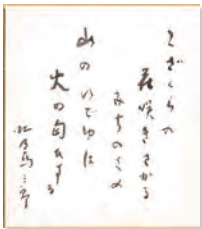
スポット
企画展

新収蔵資料展

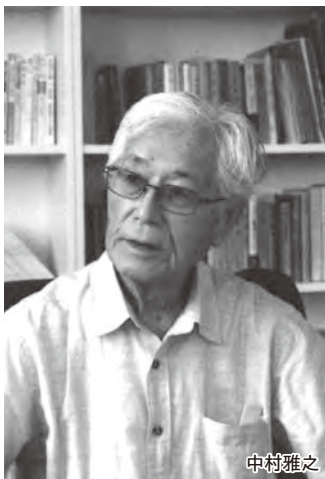
— 中村雅之旧蔵資料を中心に —

～令和8年2月23日(月)まで

中村雅之(本名・正行)は、昭和3年に津軽半島の寒村・車力村(現・つがる市)に生まれました。早くから農業にいそしみ、土とともに暮らしてきた日々が歌の根底にあります。昭和47年、江流馬三郎の筆名で発表した「縦走砂丘」50首により、本県初の角川短歌賞(第18回)を受賞。かけがえのない風土と人生を歌い続けた生涯でした。本展は、令和7年2月に他界した歌人・中村雅之旧蔵の直筆資料を中心に展示し、その知られざる一面を紹介するものです。



江流馬三郎 色紙
「こざくらの花咲きさかるみちのくの
山のいでゆは火の匂ひする」



中村雅之

第18回角川短歌賞記念品 楯

「縦走砂丘」は、ミサイル射場設置問題に揺れる貧しい村の実態と、軍事基地化で失われようとしている故郷の山野のかけがえのない美しさを歌った作品。同賞の受賞は、本県はもとより東北地方では初めての快挙であった。

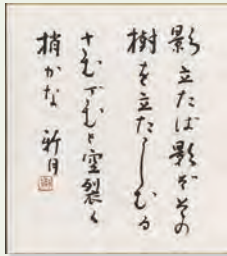


第49回
企画展

生誕90年 寺山修司 — 放たれた歌

～令和8年3月21日(土)まで

令和7年に生誕90年を迎えた寺山修司(弘前市生まれ)の第一歌集『空には本』(昭和33年)に光を当て、改めてその魅力に迫ります。併せて、角川短歌賞を受賞した青森県ゆかりの歌人の第一歌集・受賞作品—江流馬三郎(中村雅之)歌集『縦走砂丘』(昭和49年)、梅内美華子歌集『横断歩道』(平成6年)、渡邊新月作品「楚樹」(令和5年)を紹介。さらに、明治・大正期に遡り、新しい短歌に向かう青森県歌壇黎明期の情熱と息吹を概観します。



渡邊新月 色紙
「影立たば影ぞその樹を立たしむる
さむざむと空裂く梢かな」



次回

スポット企画展

現在活躍中の作家展

令和8年2月25日(水)
～4月13日(月)

展示替休館:3月22日～3月31日

三浦雅士、鎌田慧ら現在活躍中の文筆家のほか、令和6年に逝去した古川智映子の書籍などを中心に紹介します。



古川智映子
『負けない人生』
潮出版社 令和4年

郷土文学館 2F

令和8年

ラウンジ Information 新春イベント

参加料 無料(郷土文学館観覧料をいただきます。)

定員 25名(お申込み先着順)※定員になり次第受付を終了します。

申込み 郷土文学館受付カウンターまたはお電話にてお申込みください。
TEL:0172-37-5505

北の文脈文学講座

寺山修司の俳句・短歌・詩をつらぬく詩情

講師:藤田晴央(詩人)

令和8年1月17日(土) 午後2時～3時

「十五歳抱かれて花粉吹き散らす」

寺山修司の創作活動は俳句から始まり、短歌、そして詩へと展開した。それらの詩歌句は「私性」を越えていく魂の越境者の文学であり、青春のみずみずしさと向日的な魅力に溢れている。一現代の抒情詩人が、寺山文学の詩情について語る。



ミニ
企画

石坂洋次郎と映画

～令和8年3月21日(土)

2階石坂洋次郎記念室では毎年2回テーマを設けミニ企画展を実施しています。今年は映画化された石坂洋次郎作品を取り上げ、写真や台本等を展示しております。一般展示と共にぜひお楽しみ下さい。



「文学忌」今官一

「文学忌」は弘前ゆかりの作家11人の忌日を含め約1週間その作家の特別展示をロビーで開催します。また忌日は無料開館とし、午前10時から林本恵美子さん(朗読家)による朗読も実施いたします。(事前申込不要)

ロビー展示 今官一とアイヌ

令和8年2月28日(土)
～3月6日(金)まで

忌日の3月1日は無料開館



今官一手描きの
北海道アイヌ分布図

郷土文学館

展示替休館のおしらせ

弘前市立郷土文学館では、下記のとおり展示替え休館とさせていただきます。

令和8年3月22日(日)
▶ 3月31日(火)

■ 弘前市下白銀町19-4 ■ TEL 0172-33-6571 ■ 開館時間／午前9時～午後10時(窓口は開館から午後5時まで) ■ 休館日／毎月第3火曜日(祝日にあたる日はその翌日)、12月29日～翌年1月3日(年末年始)

映画「胸騒ぎ」より
ちよきちよきシネマ
～映画にがおり絵展～
2026. 2.7sat 2.8sun
9:30～18:00
弘前文化センター1F
美術展示室 入場無料
青柳省吾プロフィール
八戸市出身、日大芸術学部映画学科卒。
2007年より「映画にがおり絵」制作を始め、同年6月より「シネスイッチ銀座2」ロビーにて常設展示開始。
第28回国際文化祭・やまなし2013「国際切り絵コンクール」イン・身延「ジャパン」入選。

切り絵ワークショップ 開催!

型紙にそってはがきサイズの切り絵をつくろう!

タイムテーブル

2/7(土)、8(日)

①10:00

②13:00

③15:00

会場 弘前文化センター1F 美術展示室

講師 青柳省吾氏

定員 各回10名(お申込み先着順)

参加料 税込1,800円(フレーム付き)

ご予約 申込みフォームまたは
弘前文化センターまで
お申込み下さい。



※小学校低学年以下は保護者同伴でのご参加をお願いいたします。

お問い合わせ

弘前文化センター
9時～17時(第3火曜休館日)

☎ 0172-33-6571 ☎ 0172-33-6570
✉ hirosaki-bunka@hi-it.jp